

木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 会議経過要旨

会 議 名		第 4 回木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会		
日 時		平成 27 年 10 月 27 日（火） 午後 3 時～4 時	場 所	木津川市役所 5 階 全員協議会室
出 席 者	委 員	【第 1 号】 ■福本 桂子委員、 ■山川 博一委員 【第 2 号】 ■真山 達志委員(会長)、 ■今里 佳奈子委員(副会長) 【第 3 号】 ■市川 浩之委員、 □中村 香苗委員、 □川森 昌代委員、 □北島 宣委員、 ■井上 靖委員、 ■中島 浩之委員、 □久保田 文子委員、 □七條 歩委員、 ■佐脇 貞憲委員、 □西村 正子委員、 ■三上 かず子委員、 ■加藤 千景委員、 ■梅本 好成委員、 □佐藤 啓子委員、 □大倉 竹次委員、 ■湯瀬 敏之委員		
		そ の 他	(株)地域未来研究所 倉嶋 祐介	
	事 務 局	尾崎市長公室長、尾崎市長公室次長、 茅早企画政策係長、佐々木企画政策係主任		
	議 題		1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 議事 (1) 報告事項 ①木津川市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」「総合戦略」(案) に係るパブリックコメント実施結果について (2) 協議事項 ①木津川市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」「総合戦略」(案) について (3) その他 ①今後のスケジュールについて 4. その他 5. 閉会	
会 議 結 果 要 旨		1. 開会 事務局から開会を宣言した。 事務局から人事異動による委員の交代(本多浩治委員→井上靖委員)を報告した。 2. 市長あいさつ 開会に先立ち、市長から挨拶があった。		

	<p>3. 議事</p> <p>会議録の署名委員として三上委員を指名した。</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」「総合戦略」(案)に係るパブリックコメント実施結果について</p> <p>「資料1 木津川市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」「総合戦略」に係るパブリックコメント実施結果(提出意見及び市の考え方)」に基づき、事務局から報告し、確認した。</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①木津川市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」「総合戦略」(案)について</p> <p>「資料2 木津川市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」と「総合戦略」【概要版】」及び、「木津川市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」「総合戦略」」に基づき、事務局から説明し、承認した。</p> <p>4. その他</p> <p>①今後のスケジュールについて</p> <p>今後、市民とともに戦略を推進していくことと、進捗評価については毎年6月頃に、当推進委員会にて実施したい旨を報告した。</p> <p>5. 閉会</p>
<p>会議経過 要旨</p> <p>◎会長 ○委員 →事務局</p>	<p>1. 開会</p> <p>会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 市長あいさつ</p> <p>日本の人口が減少していく中で、本市の人口は順調に増加してきた。しかしながら、学研都市建設の収束に伴い、今後は大きな人口増加は見込めなくなる。</p> <p>日本全国が地方創生に向けて大きく動き出している中で、本市においても自分たちのまちの魅力をいかに発信していくかが重要であり、木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定してオール木津川市で新たな施策の展開に取り組み、またそれにより子や孫の世代まで生き生きとしたまちを継承していきたいと考えている。</p> <p>委員の方々においては半年間に渡り、それぞれの立場から活発な議論をして取りまとめていただき感謝する。これからのまちづくりは多様化してくる。地域の課題やまちの活性化に向けて“市民が主体となる事業”へと転換を図り、協働でまちづくりをしていく必要がある。戦略の策定後は6つの基</p>

本目標に係る施策の展開をし、「住みたい・住み続けたい・住んでよかった」と感じるまちづくりを進めていきたい。

3. 議事

(1) 報告事項

①木津川市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」「総合戦略」(案)に係るパブリックコメント実施結果について

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、→…質疑・意見に対する返答)

○提出意見の前半部分では、記載内容に関して詳細なチェックをして頂き、より正確な内容や記述に修正することができた。

提案意見に対する市の考えを明記しているが、今回の総合戦略では子育て・子育てに焦点を当てるということで、主に次の点を理解頂きたいという形でパブリックコメントには対応いただいた。

✓高齢者に対する福祉施策については、総合計画で定めている内容に基づき展開すること

✓総合計画と総合戦略・その他の分野別計画のそれぞれの役割分担を明確にするという趣旨から、今回の総合戦略は、子育てあるいは子育て世代をターゲットにしたものが前面に出る形になっていること

(2) 協議事項

①木津川市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」「総合戦略」(案)について

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、→…質疑・意見に対する返答)

○本編 50 ページの「学校給食などにおける地産地消推進事業」について、所管課が農政課と学校教育課になっているが、保育園を対象とした給食は含まれないのか。

→主な事業として学校給食と記載しているが、地産地消を進めるにあたり保育園での給食についても対象とする必要があると考えている。

○木津川市は人口が右肩上がりが増加しているというイメージがあるが、実際には地域によって空き家や高齢化の問題がある。そのあたりの対策や課題への指摘は、ビジョンの中に記載されているのか。

→市内の空き家や高齢化の進む地域については、資料編で触れている。地域毎の課題については、それぞれ地域ごとの施策が必要であると考えて

	<p>いる。</p> <p>空き家については、53 ページの「空き家活用プラン事業」として空き家を活用した地域の活性化について記載している。</p> <p>高齢化が進む地域については、まちづくりに取り組む方々の人材支援が必要と考えている。55 ページにすべての世代が、まちづくりに取り組もうとすることを期待し「人材の支援・創出」として記載している。また、52 ページに記載する「高齢者の元気な生活支援事業」として国の交付金を活用し、福祉的な施策にも取り組んでいるところである。</p> <p>◎一口に木津川市と言っても地域によって状況も抱えている問題も違う。地域に応じた施策に体系的に取り組んでいかなければならない。</p> <p>今回の総合戦略では、子育てに重点を置いていることから、地域の高齢化の分析や対応は手薄になっている。しかしながら、この分野は総合計画等でカバーしており、それぞれの役割分担として説明することが必要である。総合戦略の特色や狙いから、一部に重点を置いた計画となっているので、網羅できない分野が出てくる。</p> <p>もちろん、若い人が魅力を感じ住み続けてもらうためには、高齢者への配慮は必要である。明確な事業のリストアップはされていないが、高齢者にやさしいまちを目指すということは戦略の趣旨にもなっている。</p> <p>○KPI の満足度の数値はどういった形で算出がされているのか。「子育て支援No.1 を目指した施策の充実」という項目の満足度の目標値が 33.8% というのは低くないか。7 割近い人が満足していないのにNo.1 と言ってしまうといいのか。例えば資料編のアンケート調査結果のように、子育て世代に特化すればもう少し高い数値が出せるのではないか。</p> <p>→総合戦略に掲げた KPI については、総合計画の後期基本計画策定時に実施したアンケート結果である。全世代の回答と子育て世代の回答とでは数値が異なる。総合計画では、すべての世代を含めて、1 年で 1% ずつ、5 年で 5% 向上させていきたいと考えていたが、それよりも少し高い数値を記載している。これは最終目標ではなく、時点修正を入れていく予定である。</p> <p>◎数字だけを見ると、全般的にインパクトのある値は少ない状況に思えるが、スタートラインが低いのでこの値になってしまう。5 年間という短期間での目標であるので、現状から上積みする部分の伸びはそこまで期待できない。</p> <p>→市の総合戦略なので高い目標値を掲げたいが、5 年間という短期間であり、これまでの経過も考慮すると、5 年で 10% 向上させるというのは思い切った数値であると事務局は考えている。5 年後のアンケート結果を踏</p>
--	--

	<p>まえ、次期の総合戦略はさらに詳細に考え修正・補強していきたい。</p> <p>○委員就任前に市内を視察したが、まだまだ伸びしろのあるまちだと感じている。熱心な議論の中で木津川らしさが打ち出された総合戦略になったと思う。目標値について、長期の計画の中の最初の5年ということであるので、ここをクリアした上で更なる目標に向かって向上させれば良い。</p> <p>高齢者への配慮については、子どもにとって暮らしやすいまちというのは高齢者にとっても暮らしやすいまちにつながっていくと考える。</p> <p>◎本戦略の案について、推進委員会として承認することとする。</p> <p>4. その他</p> <p>①今後のスケジュールについて</p> <p>→今後は戦略に基づいて、市民とともに戦略・施策・政策を展開していく。戦略を進めるにあたり、進捗評価については毎年6月頃に実施する予定であるので、その際はこの推進委員会にお願いをさせていただきたい。</p> <p>地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）先駆的事業について、当尾の郷元気拠点づくり事業が、内示を受けたことを報告するとともに、御礼申し上げる。</p> <p>4 回に渡り議論頂き、取りまとめ頂いた内容について、今後は市の戦略として取組みを進めていきたい。今後、国から様々な交付金が示されてくるので、戦略に基づいて活用できるよう進めていきたい。その中で地域を活性化していくために、各方面で活躍される皆様の力が重要であると認識している。国からの内容を皆様にお伝えしながら、皆様と共に進めていきたい。</p> <p>4. 閉会</p>
<p>そ の 他 特 記 事 項</p>	<p>傍聴者3名</p>